

Under 20

矯正治療を受ける患者さんの年齢は、現在では子供から大人まで幅広くさまざまな年齢層にわたっています。治療を始める年齢は、成長期にある子供と成長が終了した成人では生体の反応も異なりますが、それぞれの年齢で虫歯や歯周病にさらされるリスクも異なります。一般的に、歯と歯を支える歯周組織が健康であれば矯正治療は可能です。しかし言いかえれば、どんな年齢であれ歯と歯周組織が健康な状態にない場合、矯正治療は大きな制約を受けます。

虫歯ができやすい時期・できにくい時期

一生のうちでも虫歯ができやすい時期とできにくい時期があります。まず乳歯が生え始める3歳ごろ、大人の歯に比べて乳歯は酸に侵されやすく、飲食の回数も多いため虫歯のリスクは高まります。次に永久歯へと歯が生え変わる混合歯列期も虫歯を作りやすい時期です。また永久歯列が完成する中学生から高校生にかけても、生活習慣の変化等によりリスクは高まります。一方20歳以上の成人期は歯も成熟し耐酸性も高くなり、虫歯にはなりにくくなります。

虫歯や歯周病のリスクから守る環境を確立するには

20歳になった時にきれいな歯並びでしっかり噛めるようになっていれば咀嚼機能、発音機能、審美性にも問題がなく、その後もメンテナンスを続けることで、虫歯や歯周病のリスクから守りやすい環境を確立することができるでしょう。そのためには、子供のころからしっかりした管理を始めることが重要です。虫歯や歯周病、歯並び、かみ合わせのリスク等の一つひとつを評価し、乳歯列期、混合歯列期、思春期の永久歯列期、それぞれの時期に唾液検査等の検査結果に基づく予防プログラム、クリーニング、フッ化物の歯面への応用を実施するなど、きめ細かく対応しつつ、適切なタイミングで矯正治療が行える状態を作ります。

適切な矯正治療時期は個別に診断し見極めることが必要

矯正治療は個々の適切なタイミングに行くことが大切です。現在の状態、将来の成長などをよく検討したうえで、個別に診断を行い、適切な治療時期を見極める必要があります。私たちは、長期的な目でみたときに、お子さんにとって最善の治療開始時期、治療法についてご提案し、生涯にわたる健康な口腔機能を守ることを実現していきたいと思えます。

これから、ひるま矯正歯科では20歳以下の患者さん（＝Under 20）を私が担当させていただきます。いつからでも、早すぎる事も遅すぎる事ありませんが、《今から取り組み始める》ことが何より大事だという事をお伝えし、一緒に年を重ねていきたいと思えますので、どうぞよろしくお願ひ致します。

メジャーリーグが開幕し今年日本のエース、ダルビッシュ有投手が活躍しています。中学まで野球をやっていた私はダルビッシュ投手のキレのある変化球やストレートがメジャーリーガーでも歯がたたずに空振りの山を築いている様子に感動し、その活躍から目が離せません。メジャーリーグは世界中のトップ選手が集まり、特に投手はその能力によりチームの勝敗が左右されるため、先発、中継ぎ、抑えと役割を分担しチームとして世界最高の打者を攻略するシステムが発達し日本にも導入されました。

歯科医院においてもそれぞれの医院の役割は各医院に求められる患者さん（病状）によって変化します。一人の患者さんの口腔内の健康を守る上で、歯科医師、衛生士が役割を分担し、歯科医師が治療、衛生士が予防を行う事が重要ですが、治療だけに来る患者さんが多い歯科医院では衛生士の役割は重要視されず、予防を目的として来院される患者さんの多い歯科医院では衛生士の役割が重要になります。

予防歯科が考える20歳までのリスクコントロール

ひるま矯正歯科は2006年より予防歯科を基礎とした矯正歯科治療と一般歯科治療を提供する歯科医院となるべく唾液検査や治療開始前の初期治療を行い、治療後もメンテナンスを行う予防重視の歯科医院へと変わりました。来院される患者さんも治療だけではなく、むし歯と歯周病の予防を希望される患者さんになりました。この結果、より質の高い予防を提供しようと衛生士の知識や技術も向上し、予防の結果はさらに良いものへと変化しました。この変化は私たちが期待していた変化なのでとても喜ばしい事ですが、この変化によりさらに重要だと考え始めた事があります。それは、20歳までに徹底してむし歯と歯周病を予防する事、むし歯・歯周病のリスクを可能な限り低くコントロールする事が非常に大切であるという事です。

20歳までの口腔内管理が将来の口腔内健康に影響

私たちに予防を指導してくれている山形県酒田市の日吉歯科では「20歳までにむし歯が一本もなく歯周病のない方を90%にする事」を目標としています。また、歯科先進国であるスウェーデンでは歯科の保険治療が20歳までは無料で矯正歯科治療も含むむし歯や歯周病の予防が行われ、その結果として80歳の方でも20本以上の歯を残す事に成功しています。つまり「20歳までの口腔内を徹底して管理し、むし歯・歯周病のリスクを低下させ維持する事が将来的な口腔内の健康に有利に働く」事を表しているのです。

ひるま矯正歯科では20歳までの口腔内に対するむし歯・歯周病のリスク管理を徹底したいと考え、20歳までの矯正治療を布田先生に担当していただく事でより管理システムを充実させたいと思えます。ひるま矯正歯科の新たなステップアップにご期待下さい。